

研究分野		授業科目名				科目責任者	
形態系分野		検証病理診断学特論Ⅰ・Ⅲ				森谷 卓也	
開講年次		共通/専攻/選択		単位数			
1,2,3,4		特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択		特論Ⅰ：4(2/年), 特論Ⅲ：1/年			
目的							
(1) 病理学的な研究の意義を理解するために、実施の適応、研究の手法、結果の解釈法をそれぞれ習得する。 (2) 病理診断学が臨床医学に寄与する意義を理解するために、症例検討会における病理学的解説法を習得する。							
授業到達目標							
(1) 英語文献における病理学的用語について理解し、自分でも使用することができる。 (2) 病理組織標本の作製過程を概説できる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	隔週	金	17:00-18:00	森谷 卓也 秋山 隆	講義	[抄読会]	病理診断学、免疫組織化学等に関する研究手法や解釈に関する討論、文献紹介等を行う。 [場所:本館棟5階病理学実験室]
2	不定期	月～金	13:00-14:00	森谷 卓也	講義	[症例検討会]	病理解剖症例検討会(CPC) [場所:附属病院4階病院病理部]
3	毎月	第4月	18:00-19:00	森谷 卓也	講義	[症例検討会]	合同症例検討会(産婦人科、放射線科(画像診断)) [場所:本館棟12階カンファレンス3]
4	毎月	第3水	17:00-18:00	森谷 卓也	講義	[症例検討会]	合同症例検討会(乳腺甲状腺外科) [場所:本館棟5階カンファレンス]
5	毎週	火	7:45-9:00	物部 泰昌	講義	[症例検討会]	合同症例検討会(消化管カンファレンス) [場所:総合医療センター5階カンファレンス1]
6	毎週	火	18:00-19:00	物部 泰昌	講義	[症例検討会]	合同症例検討会(消化管カンファレンス) [場所:総合医療センター11階カンファレンス]
7	毎週	火	18:00-19:00	秋山 隆	講義	[症例検討会]	合同症例検討会(消化管カンファレンス) [場所:本館棟5階カンファレンス3]
8	毎月	第3月	18:00-19:00	森谷 卓也	講義	[症例検討会]	合同症例検討会(泌尿器科、放射線科(画像診断)) [場所:西館10階カンファレンス室]
評価方法							
【特論Ⅰ】 (1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 【特論Ⅲ】 (1) 1年間※で、講義は15時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものと異なる論文(症例)であること。 特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。 ※1～3年生は2月末まで、4年生は11月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。42・43頁:単位履修方法参照。							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
(1) 紹介論文の要約について、添削して返却する。 (2) 症例検討会は事前に添削するとともに、発表時の討議内容について評価する。							
教科書							
ISBN-9784765317665, 外科病理診断学 原理とプラクティス, 真鍋 俊明(監)・三上 芳喜(編), 金芳堂, 2018							
参考書							
ISBN-9784830604768, 組織病理アトラス(第6版), 深山 正久・小田 義直・坂元 亨宇・松野 吉宏・森永 正二郎・森谷卓也(編), 文光堂, 2015 ISBN-9784524261543, シンプル病理学(改訂第7版), 笹野 公伸・岡田 保典・安井 弥(編), 南江堂, 2015 ISBN-9784260036597, 標準病理学, 北川昌伸, 仁木利郎編集, 医学書院, 2019 ISBN-9784830604744, 病理組織マップ&ガイド, 深山 正久(編), 文光堂, 2014 ISBN-9784830604812, 外科病理学, 深山正久, 森永正二郎編集主幹; 小田義直 [ほか] 編集, 文光堂, 2020							
準備学習(予習・復習等)							
(1) 講義ごとに紹介する文献および論文を、次回講義までに読んでおく。 (2) 事前に参考書で約1時間程度、該当箇所を予習しておく。 (3) 紹介された論文の要約を作成する。 (4) 症例発表に際しては関連する複数の論文を探索し、プレゼンテーションに盛り込む。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究し、仮説立脚、検証に至るまでの科学的的方法論・思考法を知悉する。							

注意事項・メッセージ

- (1) 代表的な基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。
- (2) 適切な論文探索の実施方法を習得するよう努力してください。
- (3) 相手にわかりやすいプレゼンテーションを行うよう心がけてください。